

報告事項 3（周知・報告）

理数エキスパート教員の配置による今後の理数教育の展開について

標記について、別紙のとおり報告する。

令和 8 年 2 月 16 日

大阪府教育委員会

理数エキスパート教員の配置による今後の理数教育の展開について ～博士号を持つ教員による理数系人材の育成～

(1) 理数系人材の育成に係る国の動き

- ・文部科学省は、平成 14 年度から科学技術や理科・数学教育を重点的に行う高校を「スーパーサイエンスハイスクール（以下、「SSH」という。）」に指定し、高度な教育のカリキュラム開発や大学・研究機関との連携を推進している。
- ・平成 27 年 3 月には「理工系人材育成戦略」を公表し、主体的・対話的で深い学びの促進、観察・実験環境の充実、大学等との連携による才能豊かな児童生徒の体系的育成などを通じて、創造性・探究心・主体性・チャレンジ精神を育み、次代を担うイノベーション人材・グローバル人材の育成を進めていた。
- ・経済産業省の推計によれば、2040 年には理数系専門人材が約 330 万人不足すると見込まれており、文部科学省は高校の理系比率を 39%に引き上げる目標を掲げている。
- ・令和 6 年 3 月には「博士人材活躍プラン」を掲げ、博士人材の多様なキャリアパスの 1 つとして、学校教員を挙げている。
- ・SSH 事業を進めるにあたり、文部科学省から SSH 指定校及び管理機関に対して、博士人材の具体的な活用が求められている。

(2) 理数系人材の育成に係る大阪府の取組と課題

- ・令和 7 年度時点で府立高校 11 校が SSH に指定され、大学教授による最先端研究の講義や海外高校生との共同研究など特色ある取組を展開している。
- ・また、SSH 指定校を中心に「サイエンススクールネットワーク（以下、「SSN」という。）」を構築し、研究成果の共有や生徒・教員の交流を通じて科学教育の充実を図っている。
- ・さらに、府教育庁が「大阪サイエンスデイ」や「大阪府探究セミナー」を開催し、生徒が課題研究成果を発表・議論したり、大学施設で先端研究を体験したりする機会を提供している。
- ・一方で、高度な理数系人材の育成には、SSH など高度な理数教育に取り組む学校における取組のさらなる充実を図る必要がある。

(3) 理数エキスパート教員の配置による今後の理数教育の方向性について

- ・令和 9 年度より、SSH 指定校や理数系学科設置校など高度な理数教育に取り組む府立高校に「理数エキスパート教員」を配置し、高度な授業の実施と教員育成を進める。
- ・令和 14 年度までに府立高校 5 校への配置を目標とする。

(4) 理数エキスパート教員の役割

- ・理科・数学に関する高度な授業を担当するとともに、部活動顧問や校務分掌など一般教員としての業務を担う。
- ・研究授業や教科会議を通じて教材や指導ノウハウを校内教員に普及する。
- ・公開授業などの機会を通じて、他校へも指導実践を発信する。

- ・大学や研究機関等と連携して高度な探究活動を企画立案し、校内において探究活動の実施にかかる中心的な業務を担う。

(5) 期待される効果

- ・理科や数学の教員が理数エキスパート教員の授業実践から学ぶことで、校内のすべての授業において高度な理科・数学教育が可能となる。
- ・科学コンテストや国際科学オリンピックの指導など多様な場面で活躍し、高度な理数系人材の育成につながる。

(6) 理数エキスパート教員に求める資質や能力

- ・理学・農学・工学等の博士号を取得し、理数分野における深い専門知識を有すること。
- ・理数分野における探究学習やプロジェクト型学習をリードできる能力を備えること。
- ・高等学校教員としての使命感・倫理観と高いコミュニケーション力を有すること。

(7) 採用形態

一般教員として採用

任 期：なし（定年まで任用）

給 与：一般教員と同じ

※特別免許（数学もしくは理科）を付与

(8) 研修

- ・着任後、初任者研修（法定）に加え、高等学校教育の多様な実践や実態等を学ぶとともに、教員としての高い使命感を養うことを目的とした研修プログラムを実施。